

平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	29	学校名	王寺工業高等学校
----	----	-----	----------

1. 取組名 地域で活かす「王工力」

2. 活動内容

・自治体との連携では、5月に行われた河合町「産地直送市場」や11月の奈良県産業教育フェアなどでは、ミニS.Lを走らせた。また地域の「美しが丘自主防災組合」の依頼により、防災かまどベンチを作っている。

・本校吹奏楽部は「Blue Collars」として地域の福祉施設や保育所、特別支援学校などへ年間20回程度訪問演奏をおこなっている。また王寺町のジュニアバンド「ハルモ」とは合同演奏会も2月に開催している。11月、地域のみなさんに楽しみをいただいている「オータムコンサート」には200人の聴衆が集まり、楽しんでもらった。

・本校生が先生になって行う「ものづくり教室」は、夏休みご地元の小学生のものづくりチャレンジをサポートしている。今年も王寺南小学校から保護者と児童のみなさんが学校に来られキーホルダー作りなど楽しく工作をされた。

・夏休みに橿原近鉄百貨店でおこなわれた「夏休み子ども博」ではレゴ・ロボットを実演した。

・本校写真部の活動は活発である。数々の全国公募展では優秀な成績を収めている。今年も地元の王寺町カメラクラブ写真展から招待いただき特別協賛した。地域の方々と作品の話で盛り上がり交流もさらに深まったように思う。

・年間を通して定期考査最終日に学年単位で地域清掃活動を行っている。また*王寺町CCC活動に参加、地域の方と駅周辺や葛下川堤防の清掃を行っている。

・放送映像部は王寺町や地域自治会主催の催し物の際、音響系や放送系として活躍している。

*…美しい(クリーン)王寺の町を創造(クリエイト)するため、町の美化作業を自発的に行うために組織された団体(サークル)の結成をよびかけ、積極的活動を推進する王寺町の活動

3. 成果と課題

・本年度も例年と同じく、積極的に地域活動を行えた。ただ地域の協働先の事情等により、防災かまどベンチづくりについては小学校行事に取り込まれたため、ベンチ部分を作成し提供するかたちを取った。また台風や堤防改修が行われたことから、王寺町主催の大和川クリーン作戦が中止、地域清掃活動は規模を縮小して本校生徒のみで実施せざるを得なかった。

・今後の課題としては現在、部活動別や学年別、生徒会、交流委員会等個々の活動が主となっていることから、学校全体の活動として位置づけていく必要がある。また、そのための予算措置は取っていないため、一部部活動等に負担をかけている。交流予算等の費目で生徒会予算に立ていくべきかと考えている。

4. 次年度に向けて(担当者の感想を含む)

・従来から比較的活発に地域と共に活動している本校であり、日常生活態度等を見ていただいている地域の方々の期待も大きい。今後は、工業高校の特色を生かした活動にも力を入れていきたいと考える。

